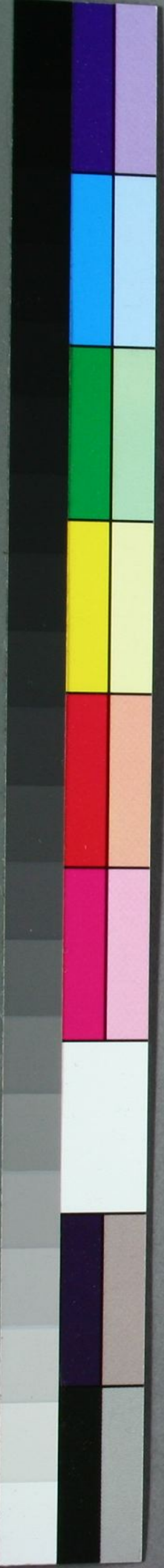
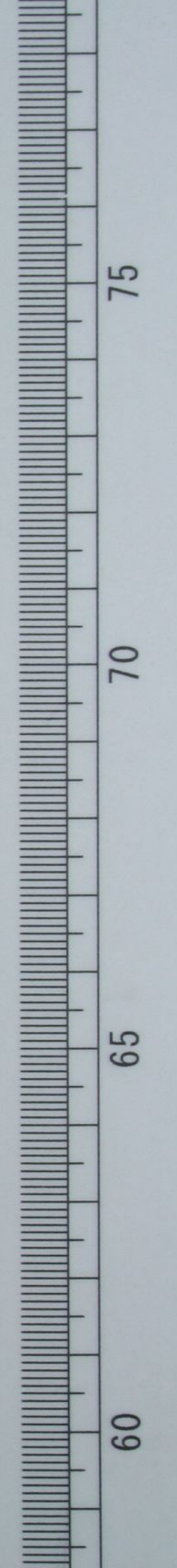


A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



風說
慶應大
切記
全



皇都池田東園主人閱

風説 慶急大切記 全

戊辰春 清夢館藏

謀計一旦能の利潤経る神明也
古人の猶そ多ふ其意あり居て大難多の
是れ其の事なり又依りて其の事なり
なりと著しとて其の事なり其の事なり
其の事なり其の事なり其の事なり
其の事なり其の事なり其の事なり
其の事なり其の事なり其の事なり
其の事なり其の事なり其の事なり
其の事なり其の事なり其の事なり

慶應四年
辰四月

池田喜蛙 

慶應大切記初編目錄

源頼朝公日本政權源倫青圖

鳥羽御道小枝橋幾幸之圖

河村將軍淀堤源五陣之圖

伏見京橋ヨリ大阪ニテ風説

大阪奉教の場陣見舞之圖

荒神に新橋之図を制札之字

二条河原大政官行幸之圖

東山御進奉之宗系河原之風説

伏見三層大切之夜に桂系出救の圖

八幡淀城下大戦軍功之風説

宗系河原戦争之宗系河原之風説

河川橋原宗系河原之風説

東後寺山上長慶殿戦死之墓

宗系河原土佐後忠公御母之墓

以上 二編追出板







風説度意大切紀初編

ふざんとせんかひのつらうよふひめんとあてこれとせんかんとゆうあんのちふあ
為不善於顯明之中者人得誅之為不善於幽暗之中
者鬼得戮之とてや安ふ人室八十二代後香御院の御宇
源頼朝公院宣と給り平家追討作とあり頼朝公院宣と
給り平家とてとらふは頼朝公院宣と將軍職とあり天
下の政事とありしありしがゆふ世のり万民安穩に
ありしとてや一とぞぬ所代とてありしとてありしと
將軍四十七代右大臣兼右大臣公院宣とありしとてや
なれば徳和も世ふありて万民のさしとてありしとて

のりよとてや朝廷入内とありしとてや
大坂城へ引籠るる仍く徳和とてや朝廷とてや
機中裁決なりとてや徳和とてや
八月三日伏見とてや火事とてや
四方兼遠守勢とてや
景元後守兼兼中守社倉用務守侍山内親守とてや
戸川重光とてや新元とてや
小栗律志とてや大久保監物とてや
戸田中將山内兼大八とてや

あちやちや
落武者と名が竹やり推せととめらるゝ
さしぐふ遊まらう十廿の人も死せし
扱きあむる方々救ふて今向ふ
さうり田へ救方の竹やりとす
る日夫はうら
戦ひとやすめ結末とるふわづら
申りく
と昔の
及へ
かま

残の
かひ火
ふ山の
あらぬ
かゝも
思ふ
即ち
しあ
ま
安

加茂川助
吉田口新橋西六

御制札場内文
次有

此新橋の落成は三年

卯十月御玉來り

幸々御門至り

ふふ御遊幸あり

大回へ御まゐり

御遊人の様は

いかに御世の後

そのごしん

を清に極る

たむるゆ

いかに御世

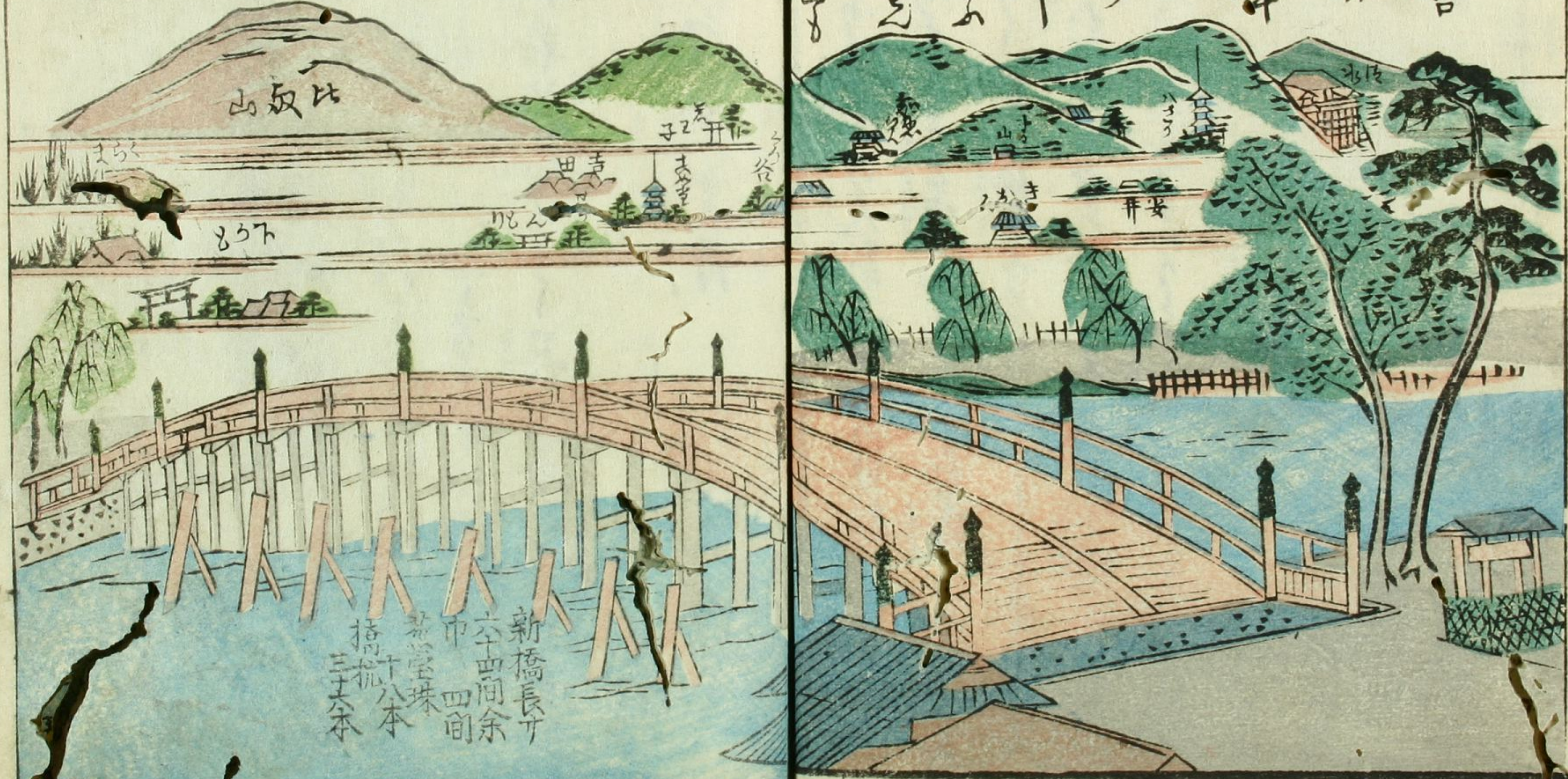
の御世

いかに御

いかに御

一の川橋

八十三
式部



新橋長サ
六十四間余
巾四間
御堂珠
橋杭十八本
三本

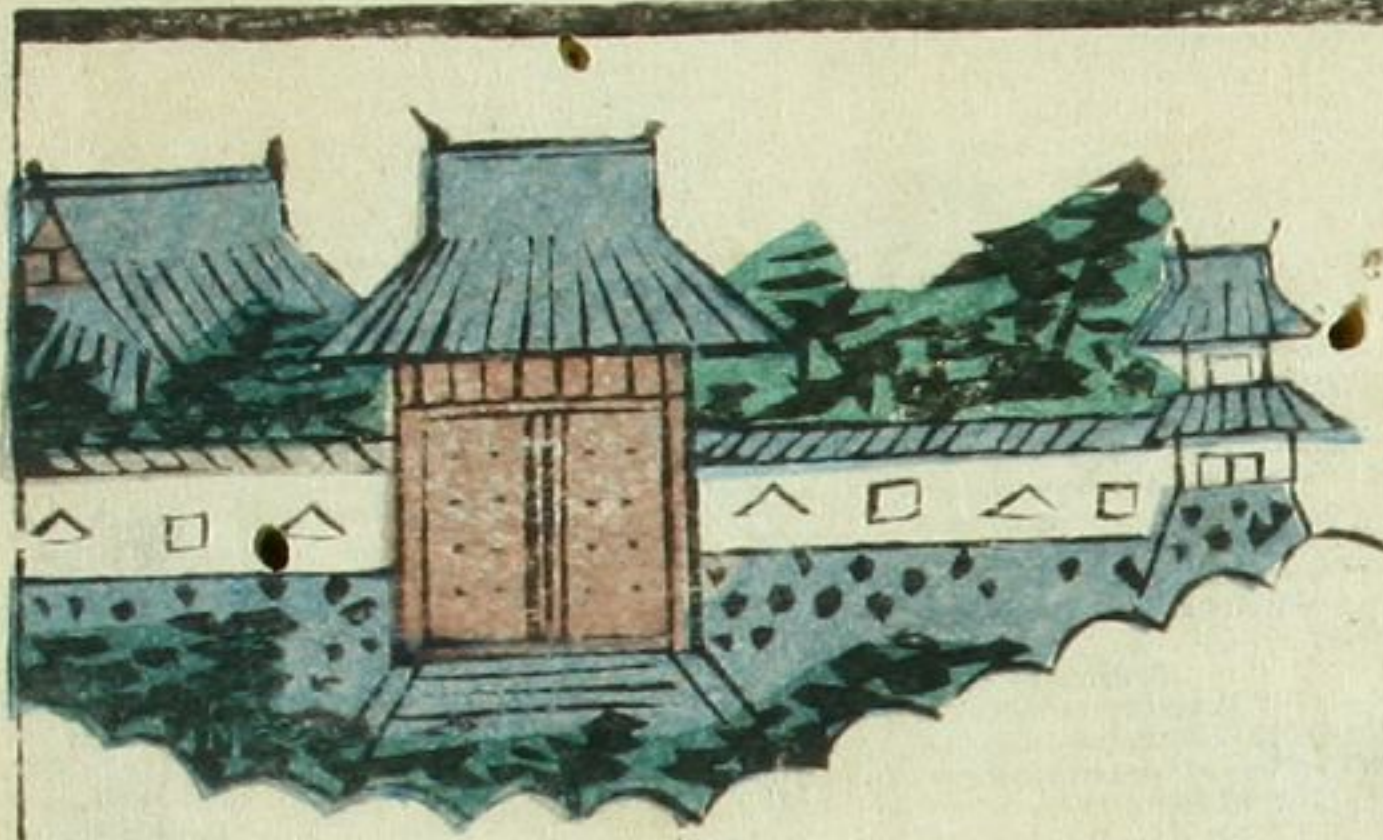
或ハ賊徒ノ後居ハ者トウキ
 志在ク奪ハ寛キ
 正時節ニシテ不弁大ニ我賊修徳ト云ク
 及ハ若ク朝故反知者刑ト云ク及以ヨリハ遠キキ
 此ノ被キ事

慶應四年辰年正月

右津制札 著神口 三葉大指 五葉大指
 法小日 目お掛りの事



大坂津村
 津村津場
 津村津場津陣町
 津村津場津陣町
 津村津場津陣町



千七百九十九年三月廿五日又々大政官
 御幸まじりし御評定より人戦地
 御巡覧し御下り
 御定まりし御評定より人戦地
 御巡覧し御下り
 御定まりし御評定より人戦地
 御巡覧し御下り



千七百九十九年辰山月大政官
 御愛草守万政神武創業
 右政官代小三條御評定御下り
 御評定より人戦地
 御巡覧し御下り
 御定まりし御評定より人戦地
 御巡覧し御下り





二月十五日 齊進登りり
 東海乃之孫
 法接後孫
 柳系侍從前史
 冬孫 本利本孫部
 海田武次
 北條乃之孫
 法接後孫
 宗念大又具定
 日 八千九
 冬孫 乾 退 則
 字 月 栗 田

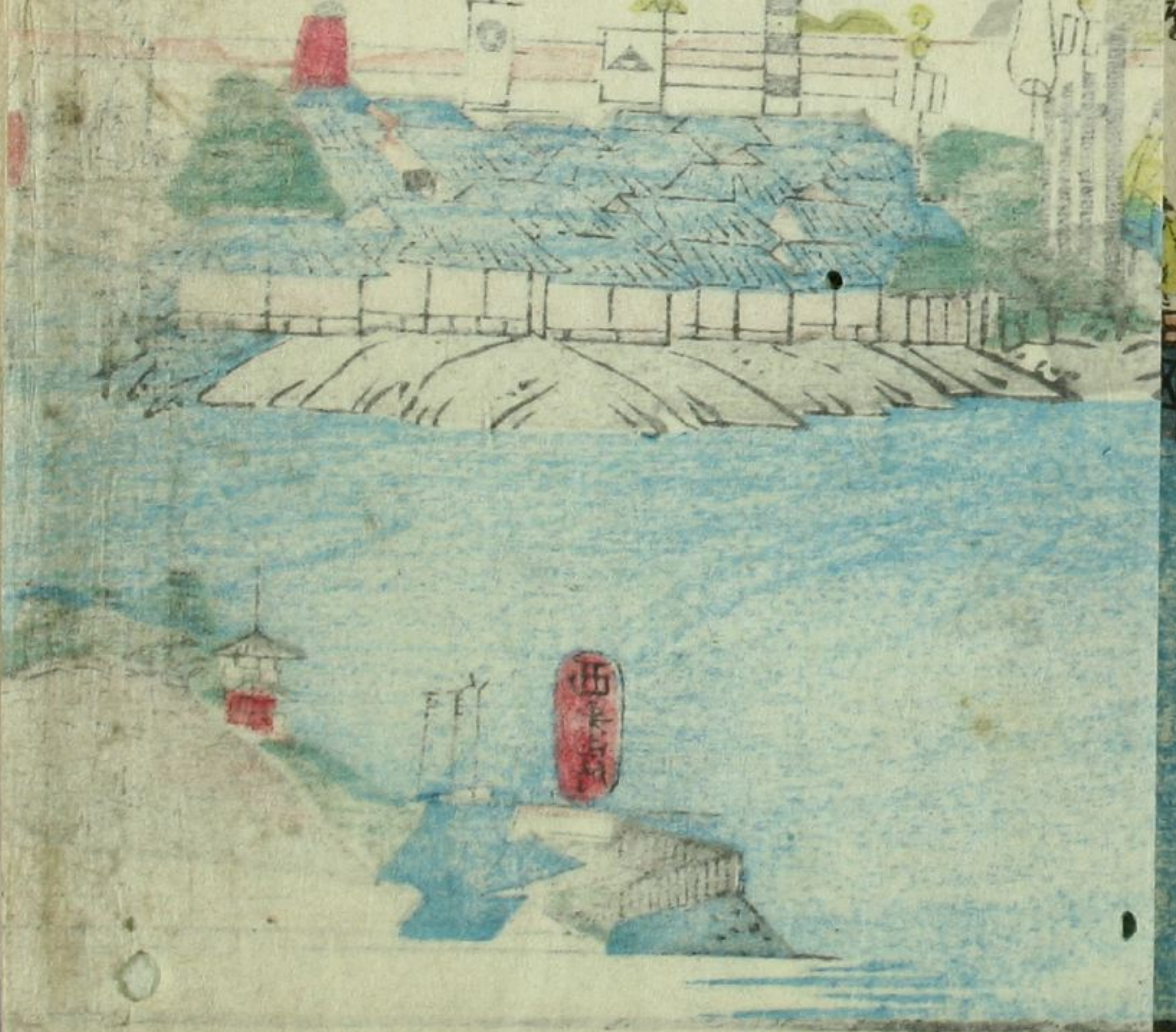
東山乃之孫
 法接後孫
 宗念大又具定
 日 八千九
 冬孫 乾 退 則
 字 月 栗 田

齊敦征孫
 有拙川御宮
 日 冬孫
 細川越中守
 日 冬孫
 細川越中守
 日 冬孫
 細川越中守

齊敦征孫
 有拙川御宮
 日 冬孫
 細川越中守
 日 冬孫
 細川越中守
 日 冬孫
 細川越中守
 日 冬孫
 細川越中守
 日 冬孫
 細川越中守



Handwritten Japanese text in vertical columns, including names like 秋原二俊石 and 倉橋治部卿.



Handwritten Japanese text in vertical columns, including names like 秋原二俊石 and 倉橋治部卿.



八

唐橋坊屋
大坂西町坊屋

沖津坊屋
中津坊屋

一御羽車

水口御坊屋
三上御坊屋

沖津坊屋
中津坊屋

二御羽車

山幸右府生
去山七門介

白川之坊屋
若波二坊屋

新原二坊屋
金橋治部卿屋
若田坊屋之坊屋
山幸中務中進
山口内由接物

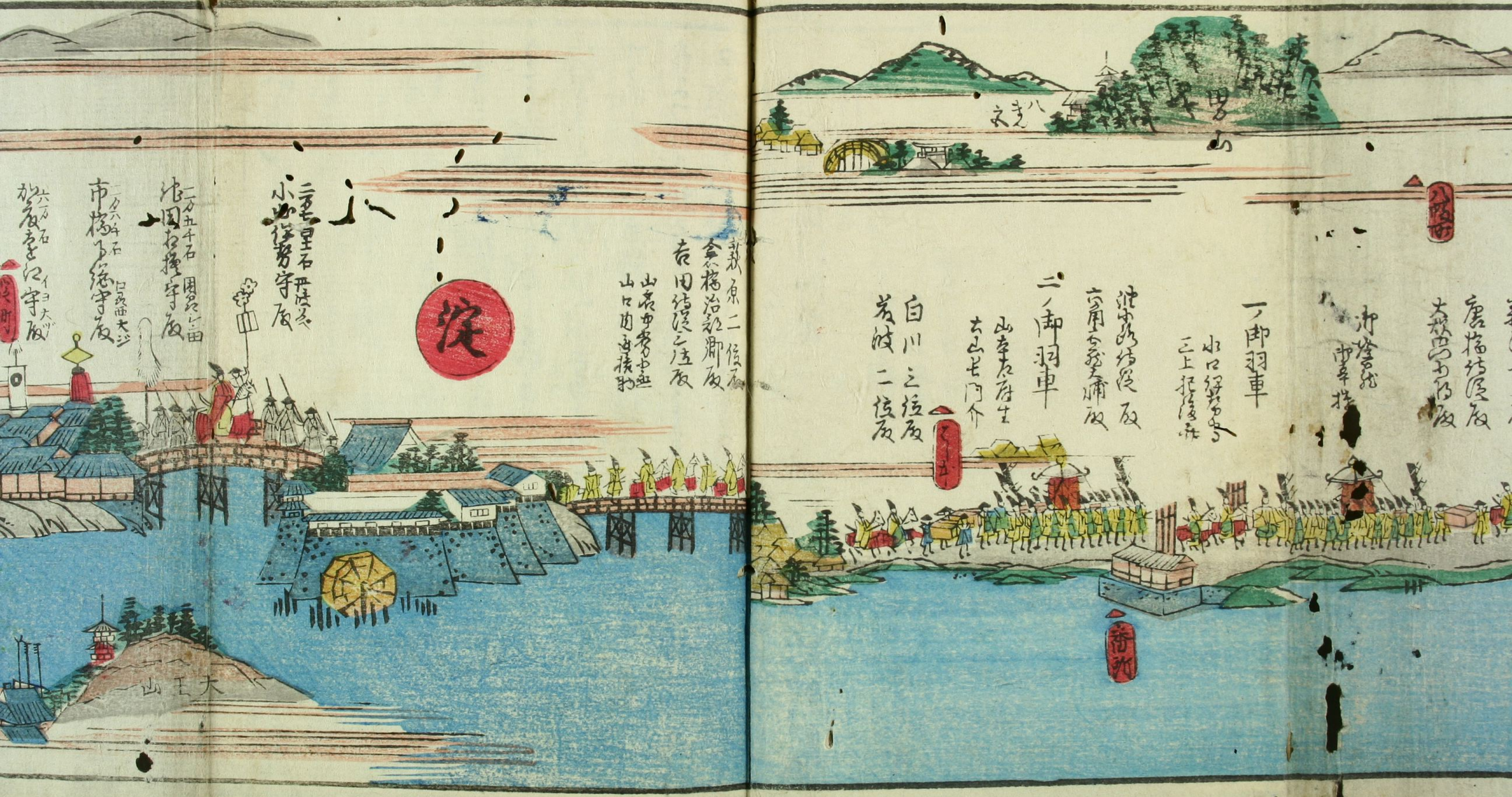
淀

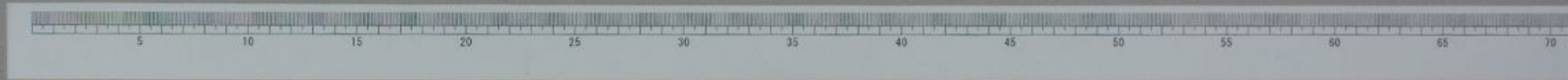
三皇石
小島守屋

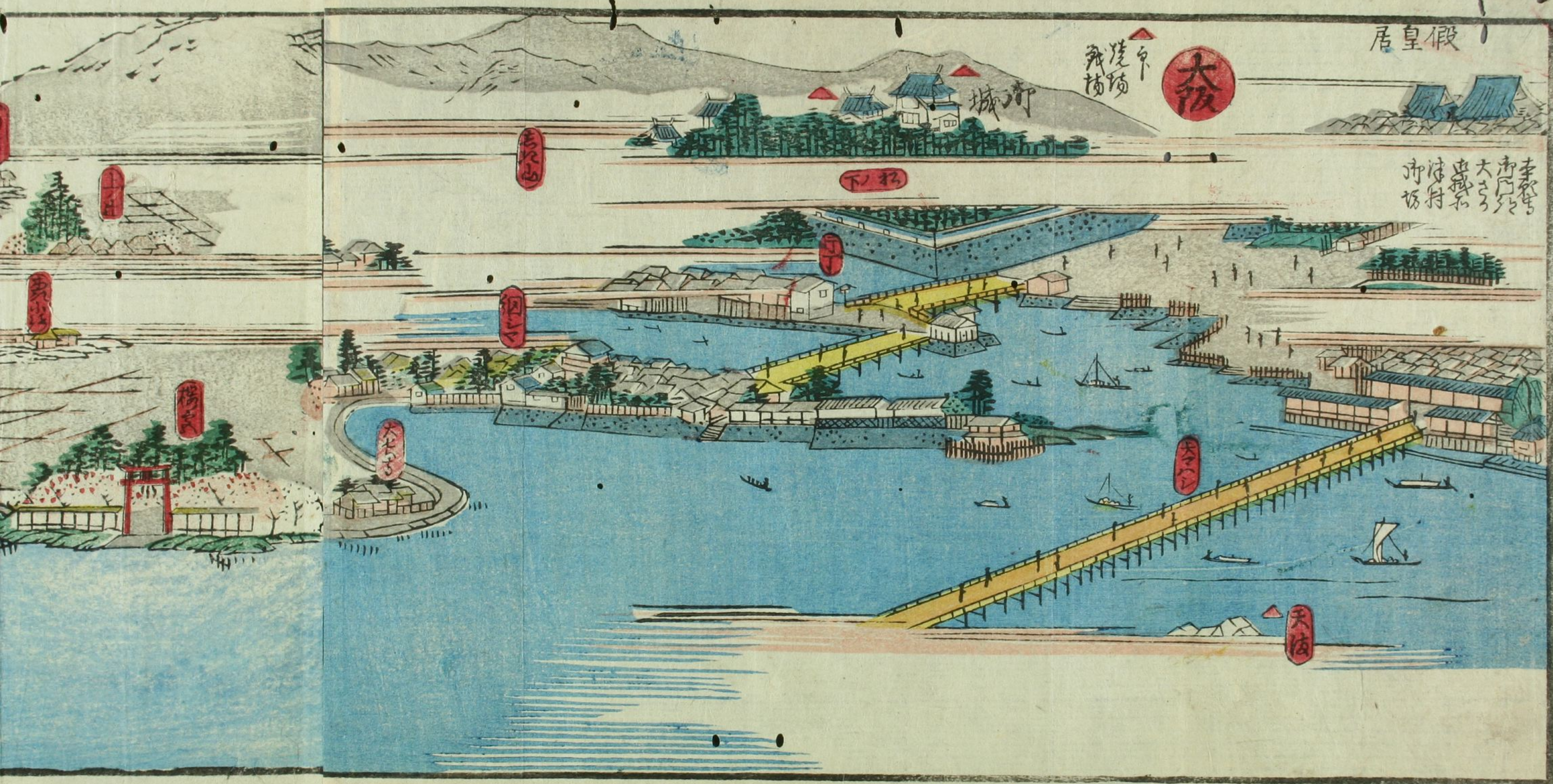
二万五千石
池田守屋

二万六千石
市橋守屋

六万石
加賀守屋







假皇居

中
後
飛
揚

大阪

河城

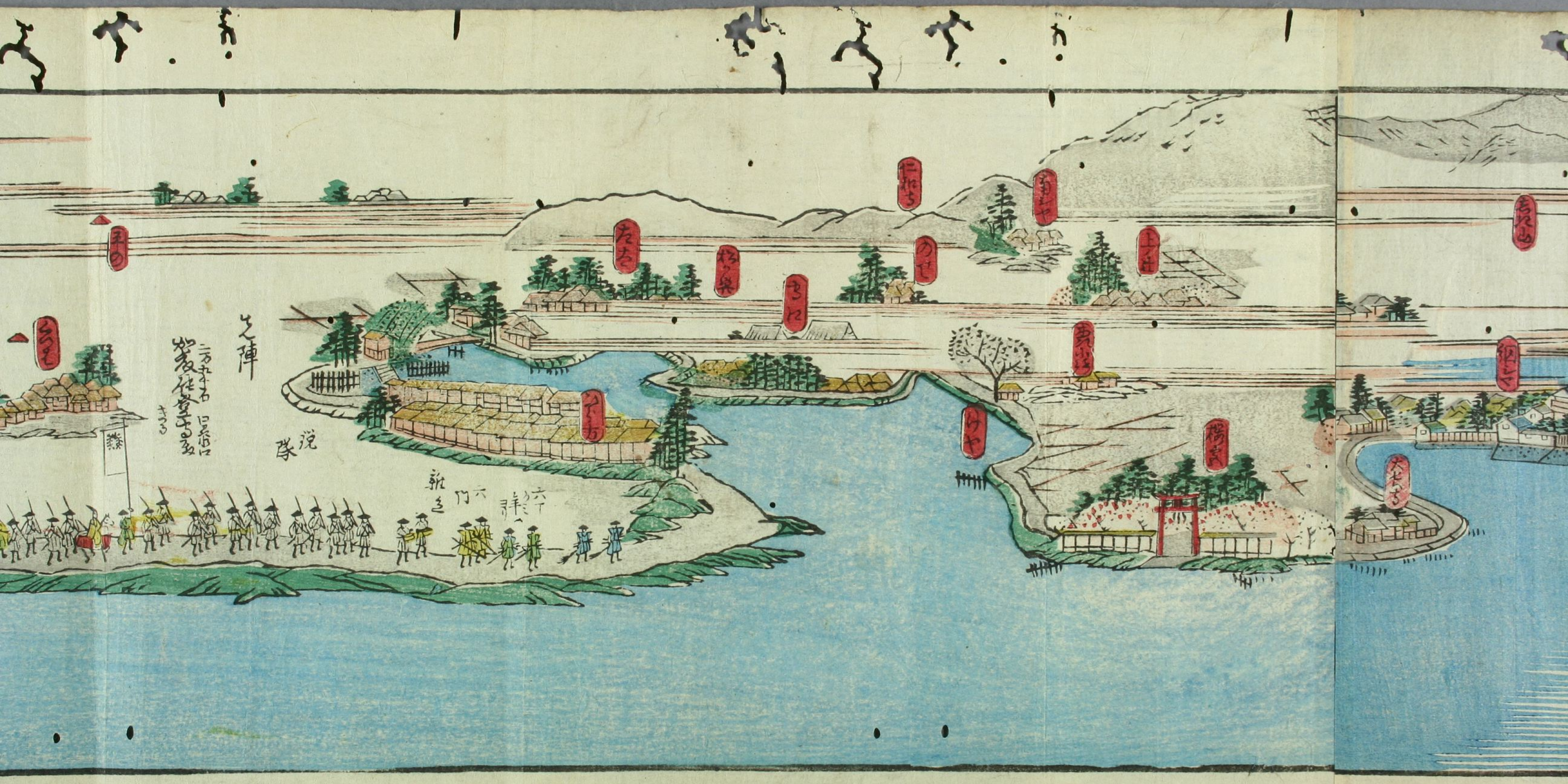
幸
野
門
大
出
津
津
津
津

下
橋

大
橋

天
橋

慶應四年三月廿日戰地由順覽界圖一



三

平

之陣

三万五千
如後任堂
多

隊

新之門六

左

右

右

右

右

右

右

右

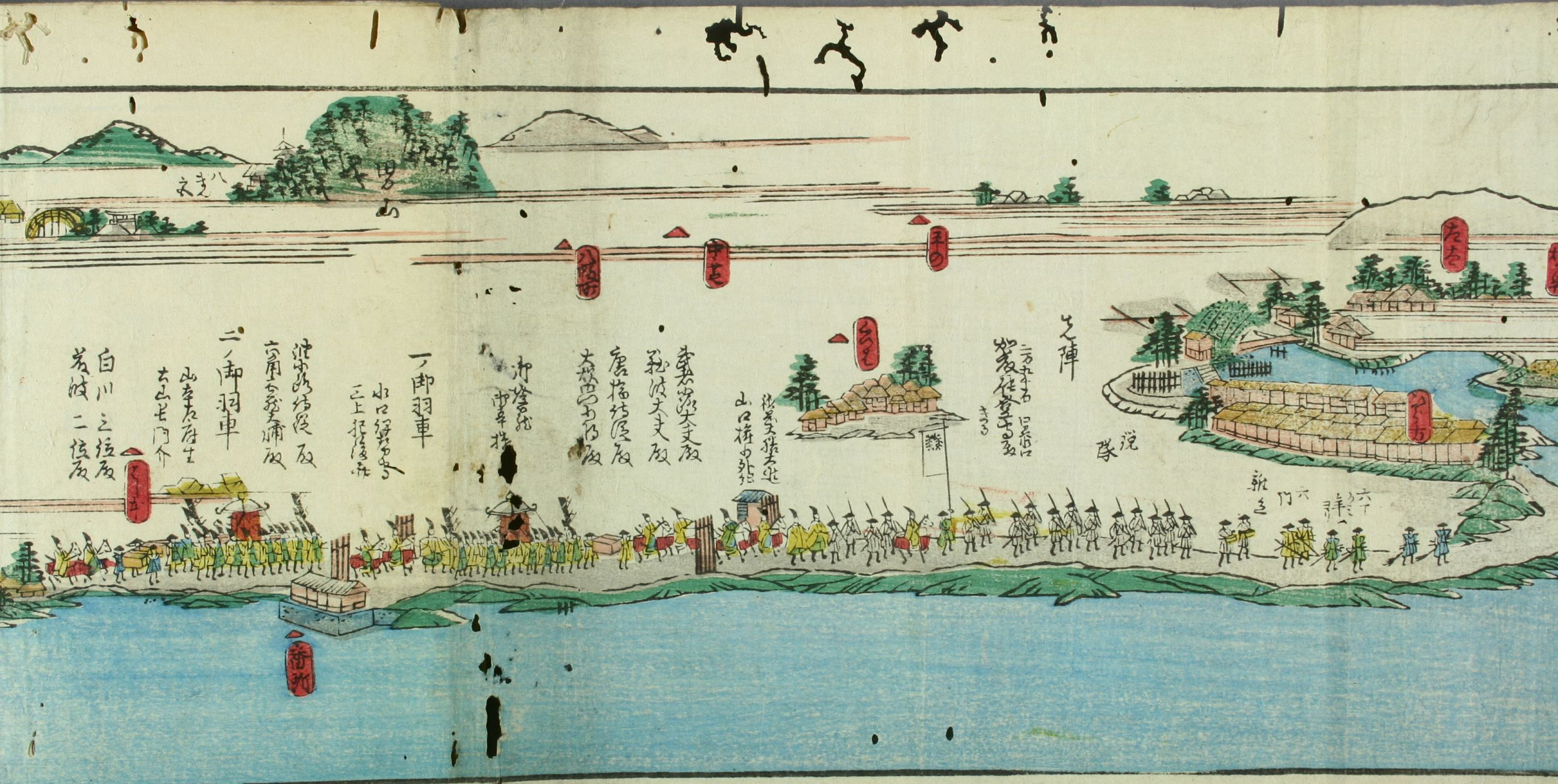
右

右

右

右

右



文八

馬山

左方

先陣

二万五千人 日暮に
如夜に登りて去

右方

徳島藩主
山口権外監

赤松藩主
赤松大支隊

赤松藩主
赤松大支隊

赤松藩主
赤松大支隊

一御羽車

水口好光
三上操

赤松藩主
赤松大支隊

二御羽車

赤松藩主
赤松大支隊

白川之位
岩波二位

関

新三 門六 詳六

赤松



定

新原二位
 会橋治部卿
 吉田信濃之丞
 山原中務少輔
 山口内膳少輔

二重皇石 丹波
 小倉守 守辰

二万五千石 園
 池田守 守辰

二万石 口
 市橋守 守辰

六万石 大
 松平守 守辰

一万石 河内
 北条守 守辰

世三万五千石
 池田守 守辰

世三万五千石
 松平守 守辰

山中左衛門
 堀内左衛門
 山崎守 守辰



一御羽車

山口守 守辰
 三上守 守辰

二御羽車

山崎守 守辰
 古山守 守辰

白川之丞
 若波二位

西

山王天

市橋子守夜

六万石 江戸大坂

北条氏守夜

此方五十五石

此方三十五石

山守夜

揚州守夜

押上守夜

日守夜

右津守夜

御旗守夜

壬午守夜

中守夜

東守夜

西守夜

南守夜

北守夜

東守夜

西守夜

南守夜

北守夜

東守夜

西守夜

南守夜

北守夜

御馬足

御衣持

御板書

下良

御馬足

御衣持

御板書

下良

御馬足

御衣持

御板書

下良

御馬足

御衣持

御板書

下良

御馬足

御衣持

御板書

下良

御馬足

御衣持

御板書

下良

御馬足

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

御旗

小倉

下

上

河内大納言
中納言
左大納言
右大納言
左中納言
右中納言
左少納言
右少納言
左大進
右大進
左中進
右中進
左少進
右少進
左大目付
右大目付
左中目付
右中目付
左少目付
右少目付
左大藏
右大藏
左中藏
右中藏
左少藏
右少藏
左大納言
右大納言
左中納言
右中納言
左少納言
右少納言
左大進
右大進
左中進
右中進
左少進
右少進
左大目付
右大目付
左中目付
右中目付
左少目付
右少目付
左大藏
右大藏
左中藏
右中藏
左少藏
右少藏

菅華聲
響
草

中山大納言
三左衛門
今様
四下三左衛門
所居
御衣控
御振書
下良
御馬定
右左衛門
右大進
右中進
右少進
右大目付
右中目付
右少目付
右大藏
右中藏
右少藏

伊賀子織部正
御衣控
御振書
下良
御馬定
右左衛門
右大進
右中進
右少進
右大目付
右中目付
右少目付
右大藏
右中藏
右少藏
右大納言
右中納言
右少納言
右大進
右中進
右少進
右大目付
右中目付
右少目付
右大藏
右中藏
右少藏
右大納言
右中納言
右少納言
右大進
右中進
右少進
右大目付
右中目付
右少目付
右大藏
右中藏
右少藏
右大納言
右中納言
右少納言
右大進
右中進
右少進
右大目付
右中目付
右少目付
右大藏
右中藏
右少藏

平四万石
細川右京大夫
長門少輔
利品定



依

小倉

上



伊予子織部正
種彦
山崎
西尾
坊部
初修
細川
主氏

中門
百
出納

幸
山
中
林
平
下
村
時
無

幸
山
中
林
平
下
村
時
無

三
方
石
丹
波
守
夜
招
平
高
守
夜

三
方
石
丹
波
守
夜
招
平
高
守
夜

三
方
石
丹
波
守
夜
招
平
高
守
夜

御
衣
施
下
良
實

御
馬
疋

三
方
石
丹
波
守
夜
招
平
高
守
夜

上
七
六

上
七
六

上
七
六

上
七
六

上
七
六



猪子

守屋

戦

守屋
戦

復小伊豆... 復小伊豆... 復小伊豆...
 集りては... 集りては... 集りては...
 余日月の... 余日月の... 余日月の...
 所の... 所の... 所の...
 中... 中... 中...
 早... 早... 早...
 近... 近... 近...
 二... 二... 二...

大... 大... 大...
 河... 河... 河...
 城... 城... 城...
 小... 小... 小...
 城... 城... 城...
 谷... 谷... 谷...

勢もふ長谷川とわらう〜 残ひらふ小賊徒の伏勢あ
 るを知らぬに逃れしは後より二百人平切とせし後上
 より巴あつる白く長き勢強勇とて形甚威すこれと見
 るに因り勢たけ山小登り又も遠勢たのめゆのやり双勢
 より谷登り〜 又も軍隊谷種多谷を紙川とら
 へ賊徒のら〜 後へまらりどろと大砲をお掛し伏せし
 めつ〜 たれらふべ〜 ころよりおろ〜 一〜 一人
 引〜 せりし〜 小賊〜 毎々の時と打斬〜
 けり〜 せりし〜 逃去り〜 げり〜 勢強す
 けり〜 せりし〜 捕らぬ〜 毎々の要〜 内〜 固
 と仰せし〜 甲府も清の吉田を引返す〜 別
 吉田の時後保々右左衛門は吉田監物市川五郎は吉田八郎
 市川権兵衛原田合々也足田喜一郎佐井安右衛門秋原
 廣〜 九人吉田引返す又も人の山崎壯
 他は後集〜 引返す〜 東首ふら〜 多捕の形〜 絶
 條砲一挺小銃十二挺斗合射するは大小二挺長持千石も
 余大砲小銃銃の糸おび〜 勢強の首四級りき〜
 津守権中〜 夫も小ね汁も毎六石と仰せしは番細
 吉田権兵衛〜 心と持着して逃げ逃の山崎〜 けりし〜
 津守権中〜 津守権中〜 甲氏よつ〜 びあ〜

勢もふ長谷川とわらう〜 残ひらふ小賊徒の伏勢あ
 るを知らぬに逃れしは後より二百人平切とせし後上
 より巴あつる白く長き勢強勇とて形甚威すこれと見
 るに因り勢たけ山小登り又も遠勢たのめゆのやり双勢
 より谷登り〜 又も軍隊谷種多谷を紙川とら
 へ賊徒のら〜 後へまらりどろと大砲をお掛し伏せし
 めつ〜 たれらふべ〜 ころよりおろ〜 一〜 一人
 引〜 せりし〜 小賊〜 毎々の時と打斬〜
 けり〜 せりし〜 逃去り〜 げり〜 勢強す
 けり〜 せりし〜 捕らぬ〜 毎々の要〜 内〜 固
 と仰せし〜 甲府も清の吉田を引返す〜 別
 吉田の時後保々右左衛門は吉田監物市川五郎は吉田八郎
 市川権兵衛原田合々也足田喜一郎佐井安右衛門秋原
 廣〜 九人吉田引返す又も人の山崎壯
 他は後集〜 引返す〜 東首ふら〜 多捕の形〜 絶
 條砲一挺小銃十二挺斗合射するは大小二挺長持千石も
 余大砲小銃銃の糸おび〜 勢強の首四級りき〜
 津守権中〜 夫も小ね汁も毎六石と仰せしは番細
 吉田権兵衛〜 心と持着して逃げ逃の山崎〜 けりし〜
 津守権中〜 津守権中〜 甲氏よつ〜 びあ〜

瀧川播磨所持之書中

德川慶喜叛逆軍配之次第

一 奈良街道小堀口 牧野

一 御城近辺一田市中 巡邏 撤兵組

一 福王駿河守 庄勤兵衛附屬一大隊 若天津ヨリ三奈大橋ニテ
クリダシイヌ

一 松平 人數 黒谷 一稻垣 人數 大佛兵糧護衛

一 松平 伊豫守 天保山一御城巡り 會津板倉伊賀守數

一 松平 殿人數 天王寺真田山并市中巡邏

一 御城近辺一田市中 小林端一歩兵一大隊

外 外國人 荒宿廻り 巡邏之吏

一 大阪御城御警衛 戸田肥後守 大徳能登守

一 奥詰詰隊八小隊 板浦八郎五郎 三浦新十郎

一 流隊四小隊 撤兵四小隊 但御城御門 勤番二小隊 撤兵

一 天野釣之丞 守城砲

一 大阪藏屋敷 天野加賀守 塙備次郎 撤兵九小隊

一 若田真次郎 砲兵二門 會藩 四百人

一 兵庫 須田教一 撤兵半大隊 大砲二門

一 西之宮 酒井 人數 松平 人數 半大隊

一 撤兵一中隊 頭取人

一 橋本園門 酒井 人數 松平 人數

一 淀本宮 騎兵三騎 別子組十人 松平豊前守出張

差因次第京都へ操込事

東福 山上 長品 御藩 戦死 墓

石川 伊波 松原 川上 黒瀬 植田 品川 河村 入江 後藤 赤川 山下 相本 宇佐 後藤 赤川 山下 相本 宇佐

- 度々四手正月日ヨトセシ
- 片山金治茂定墓
- 三浦重助孝之墓
- 尾川指三郎道忠墓
- 福嶋男也源正盛墓
- 久保直吉源茂墓
- 小林隼太源義光墓
- 竹田友即孫京常忠墓
- 原田久木之進墓
- 相本岡四郎師孫墓
- 宇佐川敏三郎忠次之墓
- 後藤深造孫前則墓
- 赤川金藏源休邦墓
- 山下翠孫有貞政墓
- 入江隼入源重忠墓
- 河村梅吉良兵衛墓
- 品川兵市即源義昌墓
- 植田滝之助清信墓
- 黒瀬志次即友有頼墓
- 川上四郎源道正墓
- 松原善人源義明墓
- 伊波御次栲次等墓
- 石川重助助正墓
- 十川三郎大良之墓
- 吉田順之助源良墓
- 上山讀五郎源忠之墓
- 岡崎全進孫原守正墓
- 出陣者方墓

- 大村清三郎義忠墓
- 佐伯鉄之進墓
- 石川和二郎勝之墓
- 入江徳馬二義墓
- 有田彦兵衛忠之墓
- 戸沢竹次郎政勝墓
- 石川伊三郎義忠墓
- 孫村英三郎捨彦墓



けいふくをたてて
くわんわんを
てしこのを
かひ

慶應四年・戊辰二月廿一日土刃藩忠死辞世

泉及埜妙国寺におきて切腹
口宿ヤ町宝珠院へ納葬

○法名三名兼有敬畧

除却洋氣各因恩決然豈可省人言
唯令大義傳千載一死元未不足論
義行院忠現氏同居士 西村左平次 其男
文義院忠深元章居士 俗名 箕浦猪之助 其男

忠法光則居士 池上弥三吉 其男
忠山良信居士 大石甚吉 其男
我々も神に忠をのたまふればいふもなきに
忠岳義長居士 故本廣五郎 其男
忠速細迅居士 勝智頼三六 其男
忠英利雄居士 山本鉄助 其男
忠堂重正居士 森 其男 吉 其男
忠固堅勝居士 北代堅助 其男
忠應攢成居士 榎葉貫丞 其男
忠相義好居士 柳瀬常七 其男
忠 其男

我々も神に忠をのたまふればいふもなきに
忠岳義長居士 故本廣五郎 其男
忠速細迅居士 勝智頼三六 其男
忠英利雄居士 山本鉄助 其男
忠堂重正居士 森 其男 吉 其男
忠固堅勝居士 北代堅助 其男
忠應攢成居士 榎葉貫丞 其男
忠相義好居士 柳瀬常七 其男
忠 其男

忠岳義長居士 故本廣五郎 其男
忠速細迅居士 勝智頼三六 其男
忠英利雄居士 山本鉄助 其男
忠堂重正居士 森 其男 吉 其男
忠固堅勝居士 北代堅助 其男
忠應攢成居士 榎葉貫丞 其男
忠相義好居士 柳瀬常七 其男
忠 其男

于時慶應四年三月廿二日戰地赤松院

朝廷渡河千部より大坂へ 赤松院より

赤松院より大坂寺に赤松院跡赤松院

赤松院と伝 皇太后御座と傳へて大坂名所

赤松院ありては是れを傳へて是れを傳へて

赤松院ありては是れを傳へて是れを傳へて

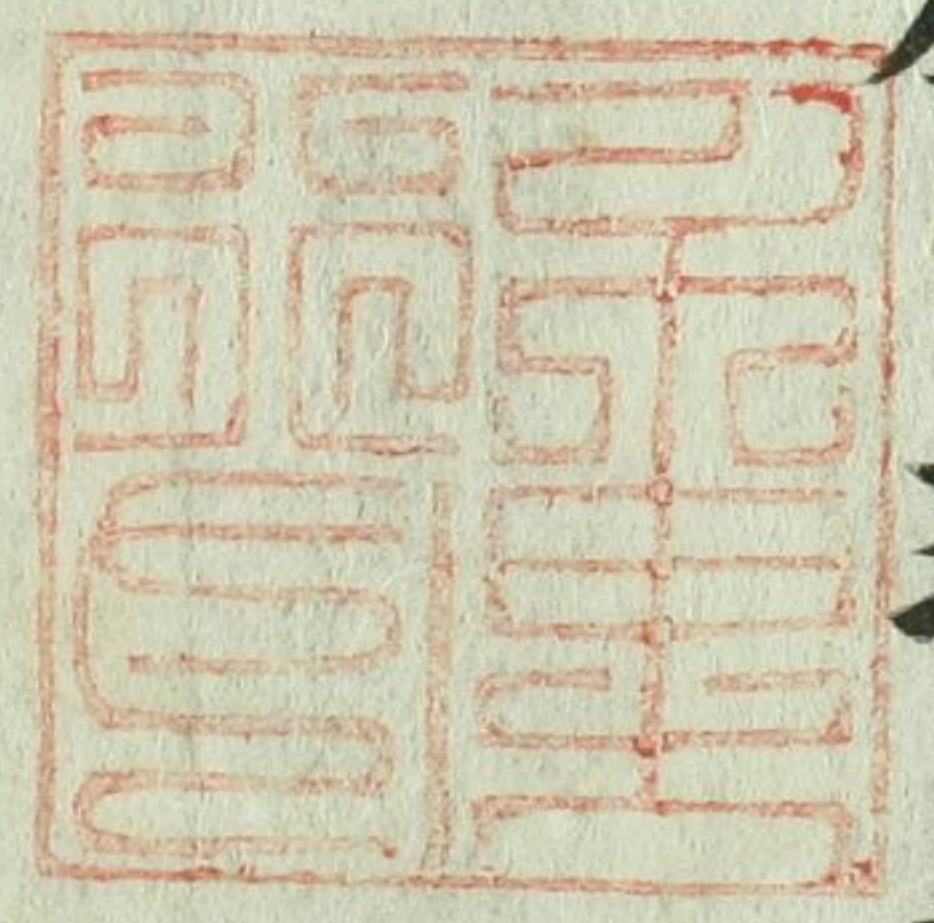
赤松院ありては是れを傳へて是れを傳へて

赤松院ありては是れを傳へて是れを傳へて

赤松院ありては是れを傳へて是れを傳へて

慶應四戊辰年

清夢館藏板



010190518162

